

エコニュース さって



第 59 号
平成 27 年 4 月 30 日
さって市民環境ネット
TEL 48-0331

第 4 回市民環境講座

「生ごみ徹底活用法・・・生ごみはゴミじゃなかった」 報告：宮田

講師：NPO 法人食品リサイクル農園あさか ～なごみ農園～ 代表理事 野口久美子さん

平成 27 年 3 月 14 日（土）幸手市中央公民館講座室において 28 名の参加で開催されました。“会の成り立ち”は、平成 14 年 9 月に「朝霞市生ごみ等減量・資源化研究会《実験農場》」を発足、平成 19 年 12 月事業の終了を受け、市民が事業の継続を担うという有志の志を受け「青空の下で 生ごみ研究会あさか」を発足させ、翌年「なごみ農園」に改名しました。啓発レベルアップの為、段ボール堆肥を含む家庭で出来る生ごみたい肥化や、使用先としてベランダ菜園講座を開催し、平成 24 年 2 月より「NPO 法人食品リサイクル農園あさか」としてスタートしています。

わたし達の提案は【生ごみ 3M】

（もったいない Mottainai）（燃やさない Moyasanai）（もう一度生かそう Mouitidoikasou）です。

どうして生ごみを燃やすだろう？悪臭や汚水が嫌だから？焼却ごみの中に生ごみの占める割合は約 50%にもなります。そもそも水分が 80%もある生ごみを燃やすことは焼却施設のメンテナンスや水分が多いと温度が下がりダイオキシンの発生が心配されます。

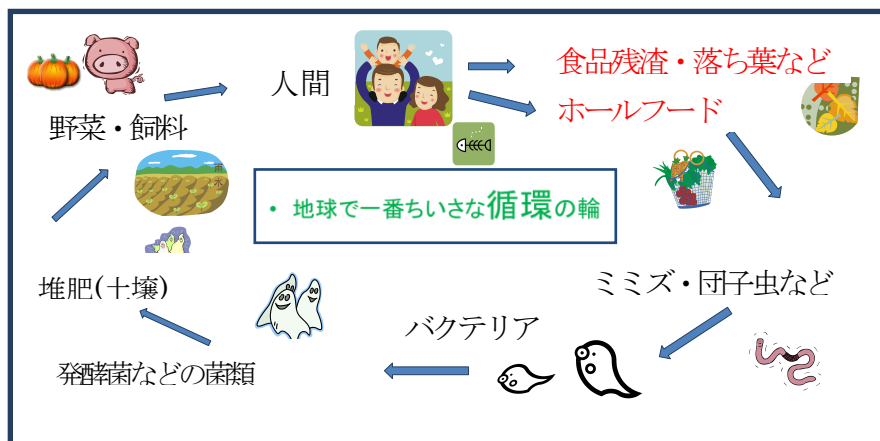
地球で一番小さな循環は（調理くず→肥料化→土壌→作物→収穫→食材→調理）（下図参照）

生ごみとして捨てたり堆肥化する前に私たちが出来る事があります、3R の中の必要な分を必要なだけ買う・外食では食べられる分をだけを注文することは出来ますよね。調理する時皮の部分に微量栄養素があるので、捨ててはもったいないのです。（ホールフード＝生ごみからも栄養を引き出す）、

ベジブロスを知っていますか？
ベジタブル（野菜）＋ブロス（だし）＝ベジブロス

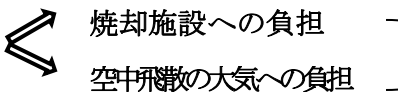
生ごみとして捨てられていた野菜くずをまとめて煮出し、微量栄養素と旨味をすべて食するスープの事です。古いお米もスープで炊くと美味しくなる。健康な生活を送るには「食べもの」だけでなく、当たり前の様にある“水”や“空気”そして安全な食材を求めるのなら“土”や“農業”の事を考え、豊かな自然を願うなら「ごみの分別」や「合成洗剤」の事も考えて欲しいのです。

『食育』という言葉がありますが、なぜ必要なのでしょう？『土育』とも呼んでいます。食事はできて当たり前…？と言う「食」に対する感覚の希薄化や季節により異なる食材の旬が分からない人もいます。まさに食の餌化・味覚の喪失です。また、野菜・肉・魚…生命



をいただいて生きている私たち人間が地球生物としての感覚の喪失につながる事、「いただきます。」の本当の意味がわからない「感謝の気持ち」をなくさない事を伝えなければなりません。

①生ごみは宝です⇒土から生まれたものは土に還そう。

②焼却し灰にしてから土に還すのは  地球温暖化につながる。

③表面土壌を大切にし貯水力を持たせ、下流域への災害負担を減らす。

④土の中の生態系が壊れた時、作物が出来ない⇒飼料など輸入⇒世界の人口割合と世界的気候異常により食べ物が無くなる⇒人類の未来を想像して今を考える。

⑤東京から見た埼玉は…埼玉の緑（土壌）には関心を向ける事は無い。

（熱いぞ!!熊谷は良い事ではない）

*都市農地を市民が守り、埼玉の QOL を上げて行こう。

堆肥作りを実践

用意する物（生ごみ；今回は野菜くず）

- ・段ボール・畑の土・落葉堆肥、 ・やし殻（廃油・油粕）・もみ殻くん炭
- ・ぬか・不織布・輪ゴム

作り方

- ① 段ボールの底部に隙間が出来ないようにテープで止める。
- ② 水分約 60%の畑の土と落葉堆肥を合わせて 3 分の 2 程入れる。
- ③ もみ殻くん炭を土と落葉堆肥の半分量を入れる。
- ④ ぬか・やし殻を少量入れよく混ぜる。
- ⑤ 野菜くずを入れて混ぜる。
- ⑥ 段ボールの蓋を閉める。
- ⑦ 不織布を二重にして被せる。（コバエの進入を防ぐ）

☆注意点！水分が多いと虫が発生する。油が多いと微生物が窒息する。

外に置く場合はレンガなど重石を置く。庭に穴を掘り埋める方がベストです。

《質疑応答》

- ・今の時期、どのくらいで堆肥になるか？⇒ 野菜の大きさにより違うが 2 週間程です。
- ・カビが生えたが？⇒ それは良い状態です、よく混ぜてください。
- ・臭いが気になるが？⇒ コーヒー、茶がらなど入れ、水分を減らす。空気を入れる。
- ・蓋には新聞紙でも良いか？⇒大丈夫ですが、濡れると弱いので注意する。
- ・地中に直に埋める場合、被せる土の量は？⇒ 穴は小さめにし一回分くらいにする。

【参加者の声】

T 氏：自分で実際に行っている活動ですので大変参考になりました。その上に、参加者全員に生ごみ活用の堆肥の実体験までしていただき皆さん納得して帰られたのではないのでしょうか。

M 氏：身近なごみの処理を大変分かりやすく説明して頂き、早速実践しようと思いました。

A 氏：ごみを減らす事の大切さと自分たちで出来る事は伝えて行こうと思います。

まとめると、基本は生ごみ、幸手の土（畑、自宅）と落ち葉堆肥（腐葉土）で、好気性発酵（臭いが少ない）を促進するために切返しをする又はやし殻、もみ殻くん炭等を入れて混ぜればよく、現在、さちネット傘下の「腐葉土と野菜づくりの会」で作っている腐葉土を使えば、家

庭の生ごみと周りの土で直ちに実践できるが分かりました（会員外の方にも腐葉土を超安価で提供できます）。ということで、参加者全員が満足した様子で大変有意義な講座でした。



第 116 回腐葉土と野菜づくりの会

報告：澤村

初めて栽培した早生マメの収穫、草取り、サツマイモの 1 回目のつる返しを実施！

8 月 10 日（日）を予定しましたが、台風 11 号の来襲で 8 月 12 日（水）に急きょ延期して 8 時集合、台風の後で、曇り、比較的涼しい下で、24 名の出席で実施しました。

冒頭、会長から、作業概要の案内があり、熟成腐葉土の頒布を予定しましたが、作業量が多く中止しました。畑に移動して、早生マメの収穫、サツマイモ畑の草取りなどを手分けして行いました。また奥マメは移植した苗は順調に生長していましたが、直播きマメは発芽率が悪く（播いた後の水分不足と少し深過ぎた？）、追加して播きました。追加して播いたものは収穫できるか保証はできない、収穫の時期が遅れるとの補足がありました。

なお、早生マメは、思った以上の収穫量で、15 本/1 束にして出席者全員に頒布し、更に欲しい人には 2 束、3 束を頒布しました。後日、少し実り過ぎた感じもありましたが、美味しかったと好評でした。

第 117 回腐葉土と野菜づくりの会

報告：澤村

今年もダイコンの種まき実施！ 10 月末のサツマイモの収穫を楽しみにつる返し！
夏繁茂した雑草取り！

9 月 7 日（日）予定しましたが、集中豪雨で 10 日（水）に延期。8 時集合、うす曇り、16 名出席。今回も、天気都合から開催日を急きょ延期と追加開催、また力作業と作業量が多く、出席者数が少ないことから熟成腐葉土の頒布はできませんでした。

地主が兼業で、8 月末～9 月初旬は、稲刈りと米の収穫でトラクターでのダイコン播き前の畑の耕しができないことから、先ず全員で草取り、男性群がシャベルで掘り起し、マンノやマンガでならしの力作業を行いました。女性群は奥マメ畑や道沿いが約 1 か月半で雑草が繁茂して実をもってしまっているのが全員で草取りを行いました。

11 時近くまで作業しましたが、出席者数が少なく、力作業、草取りが大変でしたのでダイコンの種まきは週末の 14 日（日）の午後に延期しました。

9 月 14 日（日）午前は 11 月 20 日（木）の第 2 回幸手市民環境講座・見学会の下見がありましたので、午後 3 時半から 13 名出席で、開催しました。

男性群がクワで約 60 cm 幅に畝づくりをして、全員作業で 35 cm 間隔にコーヒ缶で穴をつくり、2 粒ずつを畝方向に播き、両手で土をこすりながら細かくして薄く被せました。その上にもみ殻を撒き、更に水をタププリ散布しました。また、一寸時期が遅れましたが、サツマイモが沢山ひげ根を伸ばしており、女性群が中心となり 2 回目のつる返しを行いました。

第 118 回腐葉土と野菜つくりの会

報告：澤村

台風の合間に有志でダイコンの間引き！ 床の改修と今年度第一基落ち葉の仕込み、1 回目の奥マメ（エダマメ）の収穫！

10 月 5 日（日）は台風 18 の来襲で予定した作業ができなかったため、少し延び過ぎた面もありましたが、台風の合間を見て急きょ 10 月 9 日（木）、9 時から晴天下での有志 5 名（男性 2 名、女性 3 名）の出席でダイコンの間引きを行いました。間引きした苗は、各自が持ち帰って味噌汁の具、漬物、お浸しにして食べました。

10 月 15 日（水）、9 時集合、曇り、21 名出席。10 月の 3 連休は各位多忙のため避けて、奥マメの食べ頃に合せてウィークデイの 15 日（水）開催となりました。今回は、先ず今年度第一基の腐葉土作製を行い、その後畑に移動してエダマメ収穫を行うことにしました。週毎の台風 19 号の来襲で開催が心配でしたが幸い早く通り過ぎて降雨量も少なく足下もぬからずに作業ができました。

腐葉土床の柵に使っている戸板（リユース）がいたみ、金属版が剥がれてケガをする恐れがあるのでジョイフル本田で合板を購入して柵の改修をしました。その後、環境課に収集して頂いた落ち葉と米ぬか、鶏糞、水を仕込み第一基を作製しました。

今年は、エダマメを一部育苗して移植しましたが、大半はマメの直播きをしました。しかし発芽がまばらで、2 回目の直播きも行いました。したがって、収穫を 2 回に分けて行うことにして、1 回目の収穫を行いました。気候のせいか虫が全くつかず、マメの枝ぶりは小さめでしたが、マメの実りはよかったです（ただ、少し膨らみ過ぎ？）。

第 119 回腐葉土と野菜つくりの会

報告：澤村

楽しみに待ったサツマイモの収穫！ 熟成腐葉土の頒布と畑への散布！ 2 回目の奥マメの収穫！

10 月 25 日（土）、9 時集合、晴、27 名出席。2 グループに分かれ、男性 4 名が会員の希望数の熟成腐葉土の袋詰めを行い頒布し、また畑への散布用の熟成腐葉土のかご詰めを行い畑へ運びました。その後で、収穫作業に合流しました。

晴天の下でサツマイモの収穫と 2 回目のエダマメの収穫を行いました。サツマイモは舟底植えをしたので、サイズの大きいのもありましたが、手頃のサイズのものが多かったと思います。収穫量は昨年度より多かったようです（ただ、掘り方が粗雑でかなりイモが残っていました。来年度は残さないように周囲までしっかり掘る必要があります）。2 回目の収穫のエダマメは生長（ふくらみ）がまばらでしたが全て収穫してしまいました。今年は大半が直播きでマメ畑の面積は大きかったですが、面積に対して収穫量は減りました。来年度は育苗／移植に戻したいと思います。なお、サツマイモの収穫に親子 3 名（子供 2 名）の特別参加があり、楽しいイモ掘りのひと時が過ごせました。

【会員募集中！】環境保全活動と一緒にやっていただく方を募集しております。

是非、貴方も参加しませんか。〔さって市民環境ネット〕

★問い合わせ・申し込み ★ 澤村 邦夫(代表)まで TEL 0480-42-3384

幸手の環境活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、

幸手自然愛護会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、倉松探検隊、幸手中央ロータリークラブ、すこやか「食」の会、子育て支援ねっとわーく、いきがい・はなみずきの会(いきがい大学伊奈学園 20 期)